

■ミキモト海洋生態研究助成基金の助成実績

研究の題名	申請者氏名	所属機関名	助成金額
<b>【平成5年度】</b>			
・ 根島大浦湾におけるソラスズメダイの行動調査・研究	苗川博史	湘南工科大学附属高等学校	31万円
・ 潮間帯から浅海域における化学合成による有機物生産を利用する生物の生息について	堤裕昭	熊本女子大学生生活科学部	150万円
・ インサンゴー共生藻系における炭素収支に関する研究	山城秀之	琉球大学放射性同位元素等取扱施設	84万円
・ あまのり属に含まれる紫外線吸収物質の生態学的役割	前川行幸	三重大学生物資源学部	145万円
・ 閉鎖性砂浜海岸砕波帯の保育場としての重要性に関する研究	須田有輔	農林水産省水産大学校漁業学科	140万円
<b>【平成6年度】</b>			
・ ワカメの茎中に寄生するヨコエビ類の生態学的研究	青木優和	筑波大学下田臨海実験センター	70万円
・ 潮間帯石灰藻上に棲む介形虫に生活史と石灰藻との相互関係	矢島道子	東京成徳短期大学附属高等学校	60万円
・ カンザシゴカイ幼生の着底・変態を誘起する化学因子に関する研究	岡本研	東京大学農学部附属水産実験所	100万円
・ 南日本産褐藻ホンダワラ属の分類学的研究	野呂忠秀	鹿児島大学水産学部	120万円
<b>【平成7年度】</b>			
・ オカヤドカリの繁殖生態に関する研究	今福道夫	京都大学理学部	60万円
・ 博多湾における緑藻アオサの個体群動態と稔性に関する研究	川口栄男	九州大学農学部	70万円
・ マングローブ域に生息する魚類の群集生態学的研究	木村清志	三重大学生物資源学部附属水産実験所	95万円
・ アオサハギとアオサハギが産卵基盤とする特定のカイメンの分布およびそれらの生態に関する研究	赤川泉	東京大学海洋研究所	80万円
・ 奄美諸島に分布するカンパン類の発生および生態的研究	富永英之	福井県立金津高等学校	45万円
<b>【平成8年度】</b>			
・ 希少魚種アオギスの産卵生態と生活史に関する研究	伊元九弥	九州大学農学部附属水産実験所	110万円
・ 東アジアに出現するエビジャコ属の分類学的研究	金正年	水産大学校研究科	40万円
・ ヨロイソギンチャクの繁殖生態に関する遺伝学的研究	中山聖子	東邦大学海洋生物学研究室	90万円
・ 磯焼けの発生機構の解析	傳法隆	北海道大学理学部附属海藻研究施設	110万円
<b>【平成9年度】</b>			
・ 土佐湾砕波帯におけるアユ仔稚魚の生態学的研究	東建作	(株)西日本科学技術研究所中村分室	45万円
・ サンゴ礁性幼形成熟魚シラスウオ類の繁殖生物学	原政子	東京大学海洋研究所	85万円
・ クボミハマサンゴの光環境に応じた群体形変異の進化	向草世香	奈良女子大学大学院理学研究科	70万円
・ サンゴ礁生態系におけるツマジロナガウニの機能的役割	平川智晶	九州大学理学研究科天草臨海実験所	65万円
・ アマモ場の構造の変化と魚類群集	堀之内正博	東京大学大学院農学生命科学研究科	85万円
<b>【平成10年度】</b>			
・ 浜名湖におけるヒイラギ仔稚魚の共生発光の成立に関する生態学的研究	和田実	東京大学海洋研究所	70万円
・ ヤサイサンゴ科3種のプラヌラ幼生の遊泳、固着および変態におよぼす褐虫藻の影響	磯村尚子	東北大学大学院理学研究科	30万円
・ 尾虫類の生態学的研究	佐藤力	東京水産大学海洋環境学科	60万円
・ アマモ場の形成維持機構	河井崇	九州大学理学部附属天草臨海実験所	100万円
<b>【平成11年度】</b>			
・ ミドリシ属サンゴに棲み込むコバンハゼ類の生息場所特殊化に関する研究	竹垣毅	九州大学農学部	60万円
・ アナジャコの食性に関する同位体生態学的研究	木下今日子	東邦大学大学院理学研究科	75万円
・ 潮間帯性ヒラムシの捕食機構に関する研究	角野敦子	九州大学大学院理学研究科附属天草臨海実験所	55万円
・ ニチリンヒトデが産出する忌避物質の構造と機能に関する研究	鶴飼和代	東京水産大学海洋生産学科	65万円
・ 赤潮形成プランクトンの化学的研究	佐竹真幸	東北大学大学院農学研究科	95万円
<b>【平成12年度】</b>			
・ 感潮域に生息する絶滅危惧種アリアケシラウオとアリアケヒメシラウオの生態と保護に関する研究	水谷宏	九州大学大学院生物資源環境科学府附属水産実験所	39万円
・ 北日本沿岸の海藻藻場における海藻2種の競争と共存機構に関する研究	渡邊雅子	北海道大学大学院理学研究科	30万円
・ 小笠原諸島における造礁サンゴの生態学的研究	佐藤崇範	東京都立大学大学院理学研究科	36万円
・ 海洋性草食ほ乳類ジュゴンの栄養生態と下部消化管微生物叢の発酵機能に関する研究	渡辺亜紗子	三重大学大学院生物資源学研究科	45万円

研究の題名	申請者氏名	所属機関名	助成金額
<b>【平成13年度】</b>			
・大槌湾に接岸回遊したマアナゴの初期生態に関する研究	新井崇臣	東京大学海洋研究所大槌臨海研究センター	40万円
・貝類の陸上起源有機物除去能力の推定	笠井亮秀	京都大学農学研究科	35万円
・カニ類の光感覚に関する行動学的研究	眞鍋美智子	三重大学大学院生物資源学研究科	40万円
・潮間帯最上部に生育する緑藻ヒメアオノリの夏季消失期の生態に関する研究	飯間雅文	長崎大学環境科学部	35万円
<b>【平成14年度】</b>			
・東京湾湾奥部の干潟が魚類にどのような場を提供しているか?	茂木正人	東京水産大学資源育成学科	40万円
・熱帯域沿岸の生息環境の仔稚魚成育場としての役割に関する研究	池島耕	東京大学大学院農学生命科学研究科	40万円
・海藻着生珪藻類の分類学的研究	鈴木秀和	青山学院高等部	40万円
・造礁サンゴの異種共生藻受容能力の研究	下村優子	お茶の水女子大学理学部	30万円
<b>【平成15年度】</b>			
・琉球列島のサンゴ礁域に生息する小型タコ類の種多様性と進化適応に関する研究	金子奈都美	琉球大学大学院理工学研究科	40万円
・和歌山県田辺湾において卓越する3種のヒドロクラゲの生活史戦略	河本真理子	京都大学フィールド科学教育センター基礎海洋生物学部門瀬戸臨海実験所	50万円
・サンゴの解離細胞(tissue-ball)を用いた移植方法の試み	萩原隼人	琉球大学理工学研究科	80万円
・キヒトデ集団における雄個体減少の原因を探る	山口守	お茶の水女子大学理学部臨海実験所	50万円
・八重山諸島のマングローブ域における稀少種オウナギの生態に関する研究	揖善継	九州大学大学院生物資源環境科学府	80万円
<b>【平成16年度】</b>			
・沖縄島サンゴ礁に生息するユカリウミシダの一種の繁殖戦略と性分化に関する研究	小淵正美	琉球大学大学院理工学研究科	80万円
・西表島に生息するアナジャコ類の生殖生態と分類学的研究	平野優理子	岡山大学大学院自然科学研究科	90万円
・希少種ミナミアシシロハゼの生活史	石瀬学	鹿児島大学大学院水産学研究科	45万円
・琉球列島産シラスウオ属魚類(スズキ目ハゼ亜目シラスウオ科)の遺伝的集団構造解析	昆建志	東京大学海洋研究所	90万円
・紅藻トサカノリと二枚貝類の混合養殖による浄化作用と藻場再生	奥田昇	愛媛大学沿岸環境科学研究センター	80万円
<b>【平成17年度】</b>			
・ハマグリ属集団の遺伝的多様性に関する研究～外来種シナハマグリが在来集団に及ぼす影響の把握	矢敷彩子	琉球大学大学院理工学研究科	90万円
・亜熱帯域原産とされている温帯域サンゴ類の多角的解析による実態調査	深見裕伸	京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所	70万円
・南四国の内湾潮間帯と感潮域における希少短尾類の分類の解明	山本藍子	高知大学大学院理学研究科	50万円
・メバル3色彩型の生活史およびハビタット利用様式の解明	淀太我	三重大学生物資源学部	90万円
<b>【平成18年度】</b>			
・博多湾における植物プランクトンの種変遷機構に関する研究	紫加田知幸	九州大学大学院生物資源環境科学府	85万円
・沖縄本島沿岸に生息するトラフコウイカ(Sepia pharaonis)の繁殖生態と生活史に関する研究	阿部由紀子	琉球大学大学院理工学研究科	45万円
・ゴンベ科魚類の生活史、特に性表現に関する行動生態学的研究	門田立	広島大学大学院生物圏科学研究科	83万円
・アイナメ属3種の交雑の生態学—人為的生態地変と地球温暖化との関係—	木村幹子	北海道大学大学院環境科学院	80万円
・アカテガニに適した環境調査	稲垣達也	磐田南高校	6.6万円
<b>【平成19年度】</b>			
・福岡県沿岸域における珪藻類の分布と環境要因に関する研究	島崎洋平	九州大学大学院農学研究院	82.2万円
・囊舌目ウミウシ、チドリミドリガイが持つ複数の藻類種由来の葉緑体について、季節的変化と、組織、細胞内での分布を解明する	前田太郎	東京海洋大学大学院	80万円
・福岡県津屋崎沿岸域におけるカブトガニ成体の生息場所利用に関する研究	和田年史	鳥取県立博物館付属山陰海岸学習館	77.7万円
・南日本の浅水性口脚類の分類学的検討および生物相に関する研究	大澤正幸	琉球大学理学部	72万円
・ヨウジウオ科魚類インヨウジにおける卵生産過程と卵巣構造の組織学的研究	曾我部篤	愛媛大学沿岸環境科学研究センター	48.1万円
・希少種エドハゼの産卵生態解明に関する研究	江口勝久	九州大学生物資源環境科学府	40万円
<b>【平成20年度】</b>			
・褐藻ヒジキの集団構造および繁殖生態に関する遺伝学的研究	神山梓	東北大学大学院農学研究科附属フィールドセンター	90万円
・ヒメイカにおける隠れた配偶者選択:メスによる産卵数と父性の調節	佐藤成祥	北海道大学大学院環境科学院	80万円
・沖縄島の礁池(moat)に生息する造礁サンゴの有性生殖に関する研究	広瀬慎美子	琉球大学大学院理工学研究科	85万円
・サンカクハゼの性転換と繁殖戦略	坪井美由紀	広島大学大学院生物圏科学研究科	75万円
・干潟の流木・転石下にみられる還元環境とその貝類相に関する研究	狩野泰則	宮崎大学農学部	70万円

研究の題名	申請者氏名	所属機関名	助成金額
<b>【平成21年度】</b>			
・石灰藻ピリヒバとヤドカリの種間関係～‘擬植食’の仕組み	栗元美代子	九州大学理学部附属天然草臨海実験所	63万円
・紀伊半島沿岸域におけるシガテラ中毒原因有毒微生物類の生理・生態に関する研究	石川輝	三重大学大学院生物資源学研究所	63万円
・汽水性稀少カニ類の生態的遺伝的特徴	川根昌子	奈良女子大学	73万円
・琉球列島におけるウミクワガタ相の解明と系統解析	太田悠造	琉球大学理工学研究科	55万円
・琉球列島産海綿動物の多様性解明に関する分類学的研究	伊勢優史	東京大学大学院理学系研究科 附属臨海実験所	73万円
・アゴハゼの分子系統地理からみた過去および現在の個体群動態	平瀬祥太郎	東北大学大学院農学研究科	73万円
<b>【平成22年度】</b>			
・海中林構成種カジメの遊走子分散に関するマイクロサテライトを用いた集団遺伝学的研究	伊藤知子	筑波大学生命環境科学研究科	78万円
・サンゴの共生成立に関わる海洋環境中の褐虫藻多様性	波利井佐紀	琉球大学熱帯生物圏研究センター	55万円
・潮間帯ベントスの島嶼間の結びつきと遺伝的多様性—小笠原諸島のベニシオマネキ個体群の由来	青木美鈴	奈良女子大学共生科学研究センター	63万円
・刺胞動物を餌とするイセエビ下目幼生の生活史戦略の進化バタンに関する研究	若林香織	東京海洋大学海洋科学部	78万円
・ウツボGymnothorax kidakoの仔魚期における外洋域への分散と回帰に関する研究	田和篤史	九州大学大学院生物資源環境科学府	51万円
・沖縄島における浅海域の開発が沿岸魚に及ぼす影響～埋め立てがドクロイの生活史をどう変えるか？～	上原(堀)匡人	琉球大学大学院理工学研究科	75万円
<b>【平成23年度】</b>			
・サンゴ礁性無脊椎動物の共生藻に関する研究	山田大貴	三重大学大学院生物資源研究科	36万円
・スミアオリにおける生殖様式の多様性と無配生殖機構の解明	小川拓	福井県立大学海洋生物資源学部	91万円
・海産二枚貝類の個体成長に伴う貝殻微細構造の変化と年齢査定への応用	西田梢	東京大学大学院理学系研究科	66万円
・フグ毒保有ハゼにおける雌特異的な毒蓄積機構に関する研究	辰野竜平	長崎大学生産科学研究科	76万円
・北海道沿岸のメイオベントスの群集構造と生息環境調査	山崎博史	北海道大学大学院理学院	55万円
・河口域の塩性湿地依存性希少カニ類における東京湾メタ個体群構造の解明	柚原剛	東邦大学大学院理学研究科	76万円
<b>【平成24年度】</b>			
・魚類の口腔、鰓内に寄生するウオノエ科等脚類の生活史と寄生特異性、及び種多様化過程	畑啓生	愛媛大学大学院理工学研究科	57.5万円
・東南アジアにおけるベッコウガサ種群の分子生物地理学的研究	中野智之	京都大学瀬戸臨海実験所	53.5万円
・種間の遺伝子流動が生物多様性に及ぼす影響—浅海性メバル属魚類を例とした定量的研究	武藤望生	京都大学大学院農学研究科	58万円
・伊勢湾、三河湾に生息するスナメリの基礎生態の解明	木村里子	名古屋大学大学院環境学研究科	79.5万円
・海島の糞による窒素供給が沿岸海洋生態系におよぼす影響の解明	風間健太郎	名城大学農学部	82万円
・希少種の日本産アカメ、この矮小集団における集団遺伝学的多様性の解析	田中文也	宮崎大学大学院農学工学総合研究科	69.5万円
<b>【平成25年度】</b>			
・海藻類のハビタットの違いに対するアレロパシーの影響～アオサ類を例とした解析	羽生田岳昭	神戸大学内海域環境教育研究センター	58万円
・造礁サンゴとサンゴヤドリガニとの関係性を探る	座安佑奈	京都大学瀬戸臨海実験所	63.5万円
・クモハゼ雄の精子競争がもたらす逆方向戦略転換の可能性	川瀬翔馬	長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科	73.5万円
・ネズミルカ ( <i>Phocoena phocoena</i> ) の摂餌生態の解明	田口美緒子	三重大学大学院生物資源学研究所	68万円
・パイオロギング手法を用いた西表島周辺におけるエラブウミヘビ属ウミヘビ類の行動解析	田畑瑠那	京都大学大学院情報学研究科	77万円
・温帯域に生息する造礁サンゴの生息環境と北上種の特性	樋口富彦	静岡大学創造科学技術大学院	60万円
<b>【平成26年度】</b>			
・沿岸性付着珪藻の繁殖戦略解明に向けた細胞学的研究	佐藤晋也	福井県立大学	60万円
・有機汚濁指標生物ミズヒキゴカイは隠蔽種を含むのか？～環境評価の精度向上に向けた	自見直人	広島大学大学院生命園科学研究科環境循環系制御学専攻	60万円
・分子系統解析と生態調査に基づくコガモガイ属の分類学的研究	中山凌	京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所	70万円
・アメフラシ類のインク中の化学防御色素の組成は種間でどれだけ異なるのか？	林原信子	東京海洋大学大学院	70万円
・インド・太平洋域におけるフサカサゴ科ミノカサゴ類似種群の分類・生物地理学的研究	松沼瑞樹	鹿児島大学総合研究博物館	70万円
・沿岸域における浮遊幼生の分散・滞留機構の解明：両側回遊性ハゼを例として	飯田碧	琉球大学熱帯生物圏研究センター研究センター	70万円
<b>【平成27年度】</b>			
・深所性褐藻クロシオメ(コンブ目)の分類と生理生態学的特性の解明	栗原暁	九州大学大学院農学研究院	91.5万円
・トリアクワイカの捕食回避に関わる体色パターンとその表出機構の解明	岡本光平	京都大学大学院理学研究科	80万円
・浅海性ハクジラ類スナメリの寄生虫に関する分類学的研究	塩崎彬	長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科	73万円
・ウスエダミドリイシに含まれる褐虫藻誘引物質の精製と誘引機構の解明	竹内亮太	北里大学大学院海洋生命科学研究所	76.8万円

研究の題名	申請者氏名	所属機関名	助成金額
<b>【平成28年度】</b>			
・ 既存魚類標本を活用した寄生性等脚類の種多様性と宿主特異性の効率的な解明	川西亮太	北海道大学大学院地球環境科学研究科	88.1万円
・ 黒潮域で優占するフェオダリア類未記載種について、培養実験による生活環の解明	仲村康秀	国立科学博物館植物研究部藻類研究グループ	65万円
・ 駿河湾における浅海性魚類の初期発育に関する研究	高見宗広	東海大学海洋学部	87.1万円
・ スズキの採餌生態およびシロサケ稚魚への食害行動に関する研究	森友彦	東京大学大気海洋研究所	68.7万円
・ 人為的環境変化が与えるサンゴ礁生態系への影響—スズメダイ科魚類を用いた環境評価—	下間彩子	琉球大学理工学研究所	91.1万円
<b>【平成29年度】</b>			
・ 褐藻カヤモリの単為発生生殖は自然下で機能しているのか?	星野雅和	北海道大学理学院	64.8万円
・ 等脚目甲殻類イワホリコブムシの遺伝的集団構造解析	北浦純	奈良女子大学共生化学研究センター	50万円
・ 日本産顎口動物の分類学的研究	藤本心太	東北大学大学院生命科学研究所附属浅虫海洋生物学教育研究センター	61万円
・ ウミウシの変態誘引ドロマの探索とエダウミドロマの多様性に関する研究	依藤実樹子	琉球大学熱帯生物圏研究センター瀬底研究施設	70万円
・ 体外受精種クモハゼにおける雄の精子除去行動の検証	中西絢子	長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科	75.7万円
・ アンキアライン洞窟における魚類の生態とその起源の解明	小林大純	琉球大学理工学研究所海洋自然科学専攻	78.5万円
<b>【平成30年度】</b>			
・ 鹿児島県馬毛島沖の深所性紅藻の多様性と生理生態特性の解明	鈴木雅大	神戸大学内海環境教育研究センター	85万円
・ 南西諸島における汽水生タナイス目甲殻類の多様性と進化史	角井敬知	北海道大学大学院理学研究院	83万円
・ 日本産平動物における食性の多様性はハプロタイプを反映するのか?	塚宗継	山梨大学大学院総合研究部医域基礎医学系解剖学講座構造生物学教室	65万円
・ 環境ゲノミクス解析を用いた海産魚類の産卵モニタリング手法の構築	栗田喜久	九州大学大学院農学研究院	82万円
・ フィールド実験ステーションを用いた三角西港に定住するスナメリの社会性の研究	森村成樹	京都大学野生動物研究センター熊本サンクチュアリ	85万円
<b>【令和元年度】</b>			
・ 日本固有種の立法クラゲ綱リュウセイクラゲの生態的研究	戸篠祥	公益財団法人黒潮生物研究所	80万円
・ 温帯域におけるハナヤサイサンゴ科2種の初期骨格形成過程と加入量の検討	中村雅子	東海大学海洋学部	80万円
・ 九州西岸で生じたホリカワタマキビ種群の局所的種多様化に関する研究	山崎大志	東北大学東北アジア研究センター	80万円
・ 環境勾配に沿った外来フジツボ類の温度耐性と適応遺伝子変異に関する研究	頼末武史	東北大学農学研究科女川フィールドセンター	80万円
・ 日本海における巢穴形成イベントとその共生生物相の解明	邊見由美	京都大学学際融合教育研究推進センター	80万円
<b>【令和2年度】</b>			
・ 深海から浅海に進出したマシコヒゲムシの概日リズムの解明	小木曾正造	金沢大学総合技術部兼大学院自然科学研究科	63万円
・ ウニ類に寄生するヨコエビ類の生態とその宿主ウニへの影響の解明	小玉将史	東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センター	89万円
・ 舞鶴湾を中心とした日本海沿岸地域における両側回遊性エビ類の実験分子生態学的研究	藤田純太	京都府立東舞鶴高等学校	72万円
・ 潮間帯巻貝と貝特異的藻類の共生を用いた共多様化仮説の検証	香川理	東北大学生命科学研究科生態発生適応科学専攻生物多様性保全分野	86万円
・ 潮下帯砂質底に生息する貝類のメタ個体群動態における着底後分散の重要性の評価	竹内清治	長崎大学総合生産科学域(水産学系)	90万円
<b>【令和3年度】</b>			
・ ミトコンドリアゲノムを用いた分子系統解析による無足目ナマコ類の分類学的再検討	小川晟人	国立科学博物館動物研究部	86.3万円
・ マングローブ林に生息する木登りカニの生態学的研究	檜谷昂	東京農業大学国際食料情報学部	65.3万円
・ ヒョウモンダコの代替毒素利用戦略の解明	山手佑太	長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科	86.3万円
・ 深層学習を用いた沿岸性鯨類の胃内未消化物同定プログラムの開発	古山歩	三重大学大学院生物資源学研究所	75.8万円
・ 貝殻模型を用いたヤドカリ類の危機回避戦略と生息場選択の整合性の検討	大土直哉	東京大学大気海洋研究所沿岸海洋研究センター	86.3万円
<b>【令和4年度】</b>			
・ 特定の海藻上に生育する付着珪藻の分類と生態	菅原一輝	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科	60万円
・ セルロース分解能をもつカニ類によって發揮されるブルーカーボン生態系機能の定量評価	川井田俊	島根大学エスチュアリー研究センター	85.7万円
・ タコのマルチモーダルな景観知覚とカモフラージュ表出のメカニズムの解明	川島董	琉球大学理学部	68.6万円
・ ニセクロスジギンボの共同捕食における音声信号の機能解明	佐藤初	広島大学大学院統合生命科学研究所	85.7万円
・ 性転換能力を手放す進化の適応的意義の検証	福田和也	北里大学	100万円
<b>【令和5年度】</b>			
・ 同所の異種海藻へ穿孔する端脚類 <i>Ceinina</i> 属2種の分散戦略の解明	岨中夏美	東北大学大学院農学研究科	76.2万円
・ 地球温暖化に伴うカワアナゴ属魚類の分布移動および遺伝的多様性変動の解明	山川宇宙	筑波大学山岳科学センター菅平高原実験所	73.5万円
・ 海藻ヒジキの繁殖生態の解明: 有性生殖と栄養繁殖の再生産への貢献度は?	秋田晋吾	北海道大学大学院水産科学研究科	86.9万円
・ 環境要因がクロボシウミヘビの空間利用様式に与える影響の解明	藤島幹汰	京都大学理学研究科	73.4万円
・ 海岸に生息するミヤコカゲの潮間帯利用と潮汐による食性変化	安里瞳	琉球大学大学院理工学研究所	90万円

研究の題名	申請者氏名	所属機関名	助成金額
【令和6年度】			
・日本の海草が抱える消耗病流行リスクの解明	岩城悠佑	北海道大学大学院環境科学院	70万円
・能登半島地震が沿岸域の海藻生態群集に与えた影響の調査	豊田賢治	広島大学統合生命科学研究科	80万円
・クマノミ類の種多様化を駆動する新規ニッチ適応の生態遺伝基盤	吉田陽香	九州大学大学院・生物資源環境科学府	80万円
・亜熱帯海洋島における沿岸性大型鯨類の空間分布と環境要因との関係	辻井浩希	一般社団法人小笠原ホエールウォッチング協会	60万円